

# 埼玉医科大学国際医療センター 地域医療連携 News



**基本理念：**患者中心主義のもと安心して安全な満足度の高い医療の提供を行い、かつ最も高度の医療水準を維持するよう努めます。

**使 命：**当センターは、埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病に対する高度専門特殊医療に特化し、かつ高度の救命救急医療を提供します。

**基本方針：**上記の理念に従って患者中心主義（patient-centered）を貫き、あらゆる面で“患者さんにとって便利”であることを主眼とし、患者さんひとりひとりにとって最も適切な医療を提供致します。

**患者さんの権利：**当センターは、全ての患者さんには、以下の権利があるものと考えます。これらを尊重した医療を行うことをめざします。

- (1) ひとりひとりが大切にされる権利
- (2) 安心して質の高い医療を受ける権利
- (3) ご自身の希望を述べる権利
- (4) 納得できるまで説明を聞く権利
- (5) 医療内容をご自身で決める権利
- (6) プライバシーが守られる権利

**小児患者さんの権利：**(1) ひとりの人間として尊重される権利

- (2) 質の高いおもいやりのある安心安全な医療を受ける権利
- (3) 年齢や理解度に応じた十分な説明と情報提供を受ける権利  
\*子どもさんとご家族が、わかりやすい言葉や方法で、納得できるまで説明を受ける権利
- (4) ご自身で希望を述べる権利  
\*子どもさんとご家族が、ご自身の精神的、文化的、社会的、倫理的な問題について要望する権利
- (5) 自己決定の権利  
\*子どもさんとご家族が、自らの意思に基づいて医療内容を選択あるいは拒否する権利
- (6) プライバシーが守られる権利

## 埼玉医科大学国際医療センター地域医療連携懇話会が開催されました

第96回地域医療連携懇話会をハイブリッド形式で開催いたしました。

支持医療科より『がんサバイバーシップケア』について、医師・がん看護専門看護師・乳がん看護認定看護師・ソーシャルワーカーより講演をいただきました。

会場・WEBあわせて68名のご参加をいただきました。お忙しい中ご参加いただいた皆様ありがとうございました。次回の開催につきましては、順次ご案内いたします。

【総合司会】	地域医療連携室室長 眞下 由美
【開会の辞】	病院長 佐伯 俊昭
<b>『がんサバイバーシップケア』</b>	
【座長】	支持医療科 診療部長 内田 望
『総論 高齢者がん医療対策』	支持医療科 客員教授 高橋 孝郎
『がん生殖相談・AYA 支援の概要と自施設の取り組み』	がん看護専門看護師 矢吹 みどり
『アピアランスケアの概要と自施設の取り組み』	乳がん看護認定看護師 小島 真奈美
『就労支援 自施設の取り組み』	患者支援センター MSW 歌谷 知子
【閉会の辞】	支持医療科 診療部長 内田 望

### 【プログラム】



左から 眞下連携室長、佐伯病院長、内田医師、高橋医師、矢吹看護師、小島看護師、歌谷MSW

## 医療機関訪問を行いました

6月～7月にかけて、地域医療連携室員と患者支援センター退院支援看護師で、日頃より患者さんのご紹介・お受入れを頂いております地域の医療機関様を訪問させていただきました。当院の機能を広く理解していただき、地域の医療機関様の声を直接伺うことができ、貴重な情報交換の時間となりました。お伺いした医療機関の皆様、ありがとうございました。

〈感想〉 地域医療連携室 嶋田

計画的な医療機関訪問するようになって3年目になりますが、顔の見える連携という事で連携担当者とお会いする機会を持ち、その後のスムーズな情報交換につながっています。また実際に施設を訪問し、退院支援看護師より患者さんに転院先の医療機関を紹介するにあたって、実際に自分の目で見て来た内容をお伝えする事で、より患者さんの希望に沿った医療機関を紹介できるのではないかと思います。各医療機関様とも、お忙しい中お時間いただきありがとうございました。

〈感想〉 患者支援センター 鶴飼

私たち退院調整看護師は、患者さんが安心・納得して退院し、住み慣れた地域で療養や生活が出来るように退院支援に取り組んでいます。

今回、連携している30施設の病院を、退院調整看護師12名と訪問させて頂きました。退院調整看護師は、いつも電話でご相談している連携施設の担当者に直接会った瞬間から、大きな声で「いつもお世話になっております」と笑顔の挨拶をかわしました。担当者で顔の見える連携を通して、これからも良好な関係を築いていきたいと思っています。



関越病院訪問の様子



所沢ロイヤル病院訪問の様子



狭山尚寿会病院訪問の様子



平成の森・川島病院訪問の様子

## 脳脊髄腫瘍科のご紹介 小児脳腫瘍の専門治療を行っています

脳脊髄腫瘍科 鈴木 智成

当院の脳脊髄腫瘍科は、脳神経外科の中で脳腫瘍に特化した診療科です。その中でも特に小児脳腫瘍の治療に力を注ぎ、開院以来多くの患者さんを診療してまいりました。

脳腫瘍は希少疾患ですが、小児の脳腫瘍はさらに稀であり、正確な診断と適切な治療には高度な専門性が必要です。

まず、病理診断のためには腫瘍の採取が必要ですが、小児脳腫瘍は小脳や脳幹といった脳の深部に発生することが多く、手術の難易度が高いことが多いです。当院では、経験豊富な術者と小児を得意とする麻酔科専門医が連携し、安全な手術を実施しています。

小児の脳腫瘍では成人に比べ化学療法が有効なケースが多く、手術で全摘出を目指すべきかどうかの判断は、慎重に行う必要があります。腫瘍によっては、摘出の必要性が低く、治療の主軸が化学療法であることも多いからです。当院では、多くの小児脳腫瘍を診療してきた経験をもとに、精度の高い診断と最適な治療方針を立てることができます。

診断が確定した後、化学療法が必要な場合には、小児腫瘍科と連携して治療にあたります。近年、脳腫瘍に対しても分子標的薬が選択肢として加わり、専門知識がますます求められています。当院では、脳外科と小児科が同じ病棟で診療しているため、迅速な連携が可能な環境にあります。これは、小児脳腫瘍の治療において非常に重要です。

その他のスタッフも含め小児脳腫瘍の治療に全力で取り組んでいます。これからも患者さん一人一人に対して、誠心誠意診療を行ってまいります。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



左から福岡医師、藤巻医師、鈴木医師、三島医師、白畑医師、高柳医師、江原医師



小児腫瘍科医師と病棟看護師と



麻酔科医師と手術室看護師と

## イメージマスコットキャラクターのご紹介

当院のイメージマスコットキャラクター「かわせみん」が誕生しました。

「かわせみん」

日高市の市鳥カワセミと特産のブルーベリーをモチーフにしたキャラクターです。

“患者さんの幸せを追求”をハートの形で表現しました。

好きな食べ物はブルーベリーと栗、そしてみんなの笑顔が大好きです。



## 脳脊髄腫瘍科のご紹介 下垂体専門外来を始めました

脳脊髄腫瘍科 江原 拓郎

皆さん初めまして。

埼玉医科大学国際医療センター脳脊髄腫瘍科の江原拓郎です。

2024年4月より主に経鼻的内視鏡手術を専門に診療を行っています。経鼻内視鏡手術は両側の鼻腔より蝶形骨洞を経由し、内視鏡を用いて下垂体周辺の病変を治療する手術です。対象疾患には非機能性下垂体線腫、先端巨大症やクッシング病、プロラクチノーマなどの機能性下垂体線腫、および頭蓋咽頭腫や頭蓋底髄膜腫などがあり、子供から高齢の方まで幅広い年齢層の患者さんを診療しています。近年、脳外科領域では内視鏡を用いた低侵襲の手術が広がりつつあります。しかしながら、これらの手術は高度な専門性を要求されるため多くの経験が必要です。私は2023年度、経鼻的内視鏡手術のメッカである虎の門病院で1年間研鑽を積み、約200例に及ぶ手術に携わりました。前頭蓋底を開放する拡大手術や開頭術との同時手術が必要な難易度の高い症例なども多く経験をさせていただきました。

2024年4月からは大学に戻り、当科の鈴木智成先生と協力して、より良い経鼻的内視鏡手術を患者さんに提供するために日々奮闘しています。今後この低侵襲の手術を一人でも多くの患者さんに提供し、よりよい治療を目指してまいります。

日々の診療においては、頭痛、視力低下や視野障害、ホルモン異常を契機に頭部MRIを撮影され、下垂体腫瘍などを指摘される患者さんが多いです。この領域は非常に専門的であるため、あまり馴染みのない先生方も多いかと思いますが、どんなご相談でも結構ですので、ぜひ遠慮なく下垂体専門外来にご紹介いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 【経歴】

2015年 信州大学医学部卒

2017年 埼玉医科大学総合医療センター初期研修医

2019年 埼玉医科大学国際医療センター脳神経外科入局

【出身】 さいたま市

【趣味】 猫と遊ぶこと（足長マンチカンと暮らしています）、ドライブ、サッカー観戦

【座右の銘】 変化をおそれずに



左から3番目が江原医師

## 一般病棟の面会制限を解除しました

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため面会制限を行っていましたが、2024年5月20日より下記のとおり解除しました。

面会時間	平日	13:00～20:00	面会場所	病室または談話室
	土・日・祝日	11:00～20:00		
1回30分以内2名まで 1日に2回まで可能（同じ方が続けて2回は不可）				

※集中治療室は担当医の許可がない限り面会不可です。

小児患者の面会は個別に相談いたします。

面会者は家族または家族に準じる方とします。

感染防止のため小学生以下のお子様の面会をご遠慮いただいております。

風邪症状のないことや同居者に新型コロナウイルス感染者がいないことが条件です。

市中の感染者増加や院内での感染者発生の状況により、面会制限を行うことがあります。ご了承ください。

## オンラインセカンドオピニオンを実施しています



当院では、遠方にお住まいの方でもお気軽にご相談いただけるよう、PC、スマートフォン、タブレットを使用したビデオ通話「ZOOM」によるオンラインセカンドオピニオンを行っております。詳しくは当院ホームページをご覧ください。

- 【お申込み方法】
- ①当院ホームページ『オンラインセカンドオピニオン申込みフォーム』よりご入力（右記QRコードからも可）
  - ②地域医療連携室へお電話（TEL：042-984-4108）



オンラインセカンドオピニオン  
申込みフォーム

※予約日は申込日から2週間以上先が対象です。

※オンラインセカンドオピニオンが可能か判断をしてから、地域医療連携室よりご連絡いたします。その後紹介状や申込書類の郵送をお願いしています。

- 【料 金】 30分まで 22,000円（税込）  
30分超1時間まで 44,000円（税込）  
※保険適応ではございません。

- 【お 支 払 い】 クレジットカード決済（一括払いのみ）

# 当院は予約制です 下記の方法でご予約ください

## ① 患者さんからの電話予約

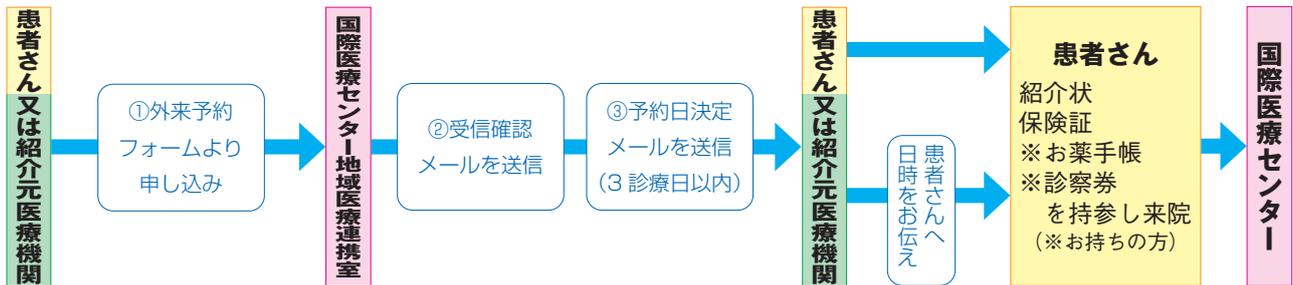


## ② 医療機関からの電話予約



## ③ インターネットからの予約 (初診専用)

紹介状は患者さんへお渡しください。



Organization Accredited  
by Joint Commission International



インターネット  
予約入力フォームは  
こちらから



## 埼玉医科大学国際医療センター 地域医療連携 News (第29号)

編集・発行：埼玉医科大学国際医療センター  
地域医療連携室

編集責任者：眞下 由美  
発行責任者：佐伯 俊昭

住 所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

TEL：042-984-4433

FAX：042-984-4740

発行日：2024年12月1日

URL：https://www.international.saitama-med.ac.jp